

485系

交直流特急型電車

共通組み立て説明書

注意

お買い上げのお客様へ 必ずお読みください。

- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。
- 部品の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対にご与えないでください。
- 部品はきれいに切り取り、切り取った後のクズは捨ててください。
- マグネットカプラー（連結部の部品）は磁石を使用していますので、テレビ・時計・パソコンなどに近づけないでください。磁気で機能異常が起こる場合があります。

〈使用上の注意〉

- 取り付け部を無理な方向に曲げたり引っ張ったりしないでください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった部分がありますので、気をつけて組み立ててください。
- 部品の加工の跡の汚物、工具などのご使用にあたっては、それぞれの取り扱い説明書をよく読んで正しく使用してください。
- Nゲージ鉄道模型のパーツなどのご使用にあたっては、それぞれの取り扱い説明書をよく読んで正しく使用してください。

〈お買い上げのお客様へ〉不都合な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

バンダイお客様相談センター

(東日本) 船橋市豊四季241-22 ☎277-8511
(西日本) 大阪市北区豊崎4-12-3 ☎531-0072

- 電話受付時間 月～金曜日(祝日を除く)10時～16時
- 電話番号はよく確かめてお間違いないようご注意ください。

Nゲージのパーツ交換について

小さなお子様は保護者の方と一緒に加工してください。

■動力ユニットの取り付け (Nゲージの線路上を走行させることができます。)

●電車・気動車への動力ユニットの取り付け

- KATO製「小型車両用動力ユニット」を使用します。シャーシと交換・装着します。

- 品番11-105 通勤電車①: コイルバネ台車タイプ
- 品番11-106 急行電車①: 空気バネ台車タイプ
- 品番11-107 通勤電車②: ボルスタレス台車タイプ

品番11-104 チビ客車用動力ユニット

- KATO製「チビ客車用動力ユニット」を使用する場合は、手すりを切り取ってからシャーシと交換・装着します。

●トレーラー車への台車取付

- 動力を入れない車両には、台車を取り付けます。

- 品番11-099 通勤電車①: コイルバネ台車タイプ
- 品番11-098 急行電車①: 空気バネ台車タイプ
- 品番11-097 通勤電車②: ボルスタレス台車タイプ

- 床板に直接、ピン取り付け方式の各種台車を取り付けることができます。

●機関車への動力ユニットの取り付け

- KATO製「ポケットライン用動力ユニット」を使用します。このとき、スカートは外してシャーシと交換・装着します。

品番11-103 ポケットライン用動力ユニット

- 11-103は、購入時にはカプラーポットの内部にストッパー(プラ小片)が入っていますので、必ずストッパーを取り外してから装着してください。

■パンタグラフの交換

- お好みのNゲージ用パンタグラフを別途お買い求めの上、交換してください。

- 品番11-401 PS14: 直流パンタグラフ
- 品番11-403 PS22: 直流下枠交差形パンタグラフ
- 品番11-404, 11-420 PS16: 直流パンタグラフ

- ピン圧入方式の各種パンタグラフを取り付けられます。

*11-420は屋根穴が4個の屋根に対応します。

- 各種の交換パーツについては、鉄道模型店、ホビーショップなどでお買い求めください。
- トレーラー台車、パンタグラフなどの交換パーツは、メーカー、形式によって取り付けが違い(緩い)ものもありますので、この場合はそれぞれ調整のうえ取り付けてください。

シャーシの組立

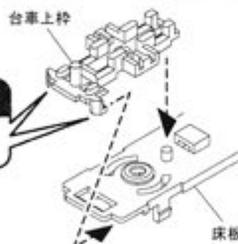
1 〈台車の組立〉

- 前後・2組の台車をそれぞれ組立ます。

- (上下を逆さまにして組立てると楽です。)
- 説明イラストは上下逆になっています。

向きに注意!

台車上枠の向きに注意してください

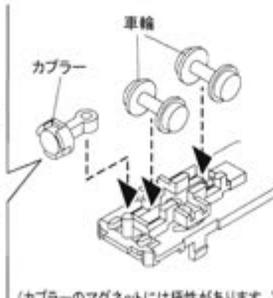


2 選択して取り付けてください

- 先頭車の前側には、ダミーカプラーを使用します。

- ダミーカプラー (連結は出来ません。)
- イラストは上下逆です。
- ドローバー (2両を固定連結する場合に使用します。)

- 密着連結器 (JR電車ほか)
- 自動連結器 (客車・気動車ほか)
- ディスプレイ線路の連結にも使用します。)

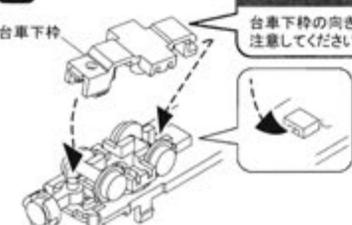


(カプラーのマグネットには極性があります。)

3

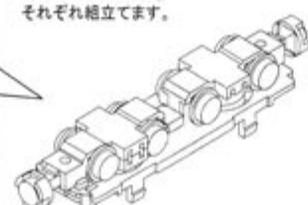
向きに注意!

台車下枠の向きに注意してください



〈台車の完成〉

- 前後・2組の台車をそれぞれ組立ます。



485系・実車の編成例

●時期によって、編成は変化していますのでご注意ください。

クハ485	モハ484	クハ481	3両編成 (クハ485がクハ481で代用) (かもしか、こまき ほか) ●多客時は2編成連結した6両編成で運用。					
クハ481	モハ485	モハ484	クハ481	4両編成 (RED EXPRESS ほか) ●九州地区の車両などは、モハ484の1/2台が通っています。				
クハ485	モハ484	モハ485	クハ481	4両編成 (RED EXPRESS ほか)				
クハ481	モハ485	モハ484	モハ485	クハ481	6両編成 (かがやき、きらめき ほか)			
クハ481	モハ485	モハ484	モハ485	クハ481	6両編成 (あいづライナー、びばあいづ、はつかり ほか)			
クハ481	モハ485	モハ484	モハ485	モハ484	クハ481	8両編成 (はつかり、はたか ほか)		
クハ481	モハ485	モハ484	モハ485	クハ481	6両編成 (いなほ、北越、北近畿 ほか)			
クハ481	モハ485	モハ484	モハ485	サロ481	モハ485	モハ484	クハ481	9両編成 (はたか ほか)

4 〈台車レリーフの取付〉

- レリーフの向きに注意してください。



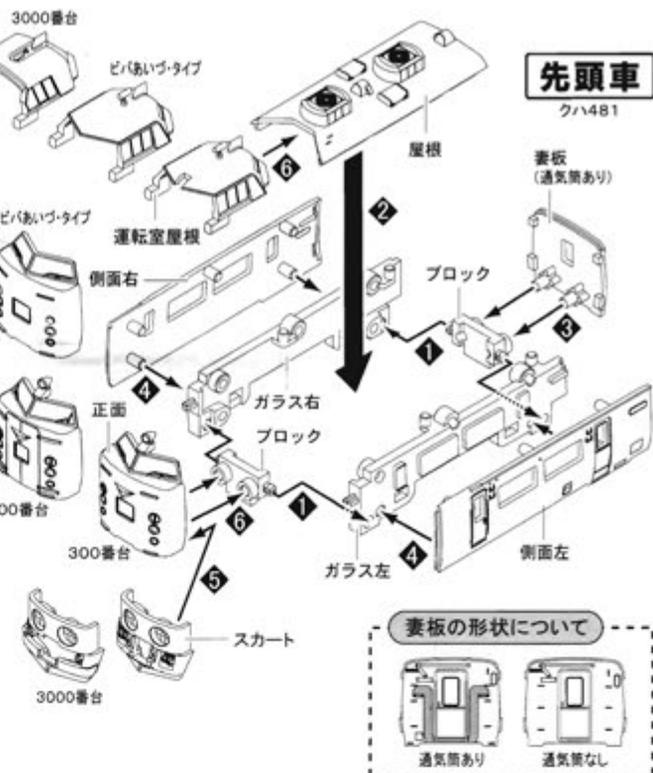
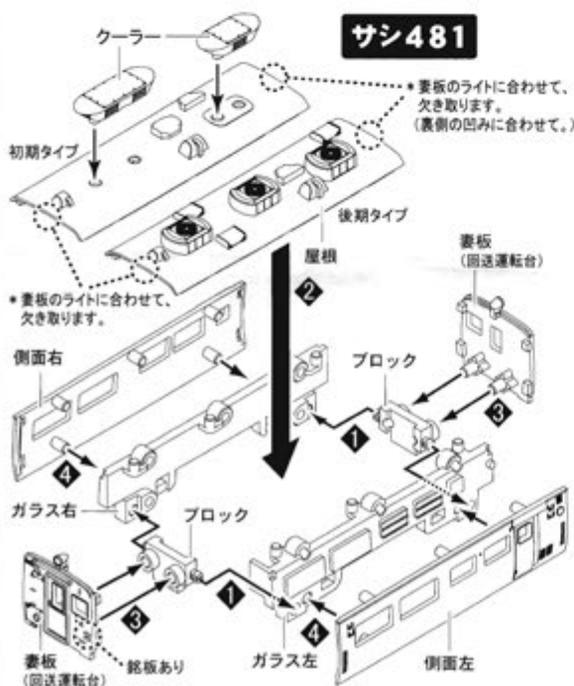
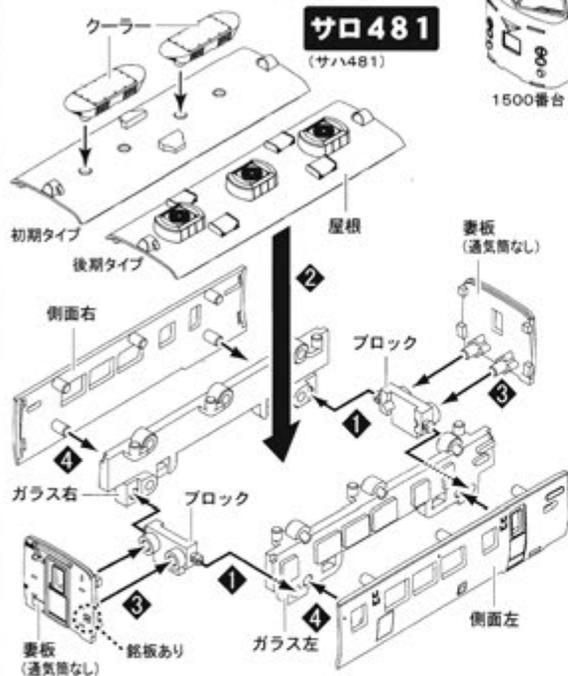
●付随車はTR69になります。

●台車レリーフを取付けて、シャーシの完成です。

車体の組立て

- ①左右のガラスの前後にブロックを取り付けます。
*ブロックの上下の向きに注意して、パチンと奥まではめ込んでください。
- ②屋根を取り付けます。
(パンタ付きの車両はパンタグラフを取り付けます。)
- ③妻板を取り付けます。
(先頭車は後方1枚、中間車は前後2枚取り付けます。)
- ④左右の側面を取り付けます。
- ⑤シャーシのつめに合わせて車体をかぶせます。
- ⑥前面を取り付けて完成です。
(組み立て前に前面の裏側にスカートを取り付けます。)

*取り付け部が固い場合があります。その場合にはドライバーの先などを利用して、しっかりと取り付けてください。

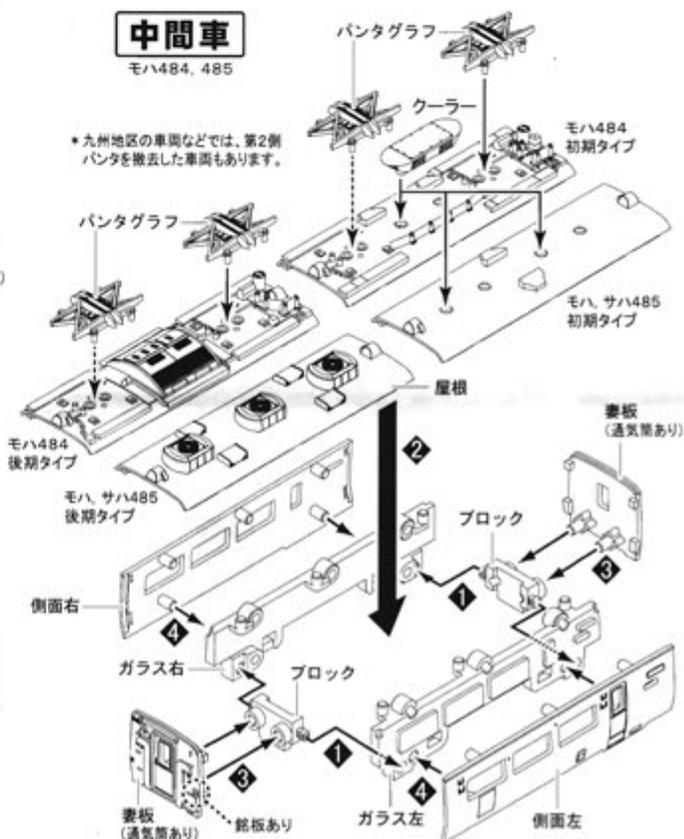


*取説に記載されている車両は、バリエーション内の一部です。正面パーツ、屋根パーツなどは、車種・塗装によってセットされているパーツが異なりますのでご注意ください。

中間車

モハ484、485

*九州地区の車両などでは、第2側パンタを撤去した車両もあります。



ヘッドマーク
(非買通物)

(買通物)

ヘッドマーク
(非買通物)

(買通物)



485系・ヘッドマーク1